

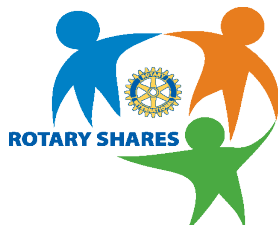
FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例 会:毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

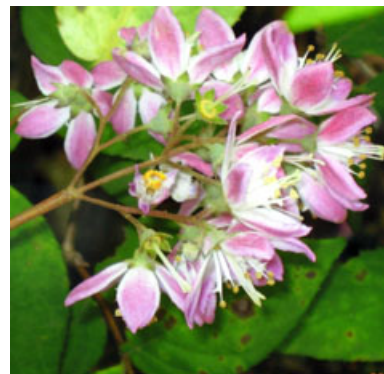
会長: 村松 英昭 副会長: 青島 克郎 幹事: 青島 彰 副幹事: 仲田 廣志

第1768回

<ソング> 我等の生業
<ソングリーダー> 杉浦 良一君



2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



【 姫うつぎ 】

写真提供: 鈴木舜光君

■ 会長報告

村松 英昭君

この6月4日前後の1週間は歯の衛生週間です。皆さん、「8020」という言葉を知っていますか? 8020とは、80才になっても20本の歯が残るように、日頃から歯の健康に努めましょうという運動です。(ちなみに成人で歯の健康な方は28本の歯があれば、だいたいの食物をスムーズに食べる事ができるということです。

80才で20本の歯のある方は、全身的にも健康でお医者さんにかかる事も少なく、総医療費も少ないことが最近の調査でわかってきました。皆様も80才で20本の歯が残るように、歯の健康のための予防に努め、いつまでも元気でいて、健康寿命を延ばしましょう。

■ 幹事報告

青島 彰君

- ・国民文化祭藤枝・岡部実行委員会より総会の案内が届いています。
- ・藤枝子どもと本をつなぐ会より通信が届いています。
- ・ガバナー事務所より雑誌・広報委員会セミナーの報告書が届いています。
- ・世界平和女性連合より連合会たよりが届いています。
- ・藤枝太鼓事務局より25周年コンサートの案内が届いています。開催は平成20年6月22日(日)市民会館で無料です。
- ・国際ロータリー第2620地区インターアクトクラブ年鑑がインターアクト小委員会より届いています。

■ 出席報告

鈴木 廣利君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
22 / 39 56.41%	27 / 39 69.23%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○北村君 ○栗原君 ○酒向君 ○杉山君
○春原君 ○松葉義君 ○望月俊君 ○森下君
飯塚君 板倉君 鈴木舜君 鈴木晶君 仲田晃君
水野君 村松徳君 村松宏君 望月志君

(2)メイクアップ者

杉山 静一君(藤枝南) 森下 敏顯君(藤枝南)
平 和則君(藤枝南) 松葉 義之君(藤枝南)

■ スマイルBOX

山田 昭雄君

- ・誕生日祝っていただきありがとうございました。

竹田 勲君

- ・昨日冠講座無事終わりました。多数のロータリアンの皆様の聴講ありがとうございました。

増田 國衛君

スマイル累計額 537,000円

■ 次年度役員挨拶

次年度会長

青島 克郎君



いよいよ7月から藤枝ロータリークラブ会長を務めさせていただくこととなりました。

今年度はC L Pに基づいた組織がスタートした年度です。

次年度は現3委員会にロータリー財団委員会が加わり4委員会となりました。

今年度は36名でスタートし昨年の12月に3名の増員が出来て喜んでおりましたがその後、今年度をもつての退会希望者が3名となり結局次年度も同じ36名でのスタートとなりました。

会員の増強はクラブの活性化には欠かせない重要課題であります。

皆様のご協力を頂き増員を果たし、会員相互の親睦を深め、また冠講座を始め多くの奉仕事業に力を注ぎ、存在感のある藤枝ロータリークラブを実現するために努力を惜しまないつもりです。
全員参加での惜しみない応援をお願いいたします。

次年度幹事

仲田 廣志君



次年度幹事を仰せつかりました仲田です。青島会長の掲げる目標、例会をより多くの出席者で、より楽しくをめざして、会員の皆様のお力添えをいただきながら、一年間一生懸命努める所存です。皆様の御協力を切にお願いします。

次年度会員増強
委員長

後藤 功君



次年度会員増強委員長を仰せつかりました後藤です。一年間会員皆様方のご支援ご協力を戴いて一所懸命やっていきたいと思ひます。

今年度は上期の内に新入会員が入会となり今年度の増強委員会のみなさんご苦労様でした。入会の結果、例会も活力が増し、やれやれの思いでしたがこの6月に入り、3名の退会者があり増強のためゆまなし活動の必要性を感じました。次年度は地区では会員増強が最重要課題と位置づけたわけですが我がクラブでは実質30数名の状況で次年度はまさに、クラブ上げて増強に努めなければならない状況です。よって、早々に会員一人ひとりに新入会員の候補を上げていただき、同行はもちろん、候補者の入会への説得を8割方ご支援戴き、会員それぞれが委員会に所属はしておりますが次年度は増強委員会兼任の気持ちをもって増強にご協力をお願いしたい。そして、ぜひ藤枝クラブの意地をみせることができる年であって欲しいものです。

次年度クラブ管理
運営委員長

増田 國衛君



クラブ管理運営委員会委員長と言う大役をおおせつかり、身の引き締まる思いで一杯です。

クラブ管理運営委員会は、会場監督、会場運営、プログラム、親睦、出席、スマイル、クラブ会報等、多岐にわたってやるべき事があります。一方、委員は委員長以下11名であり、夫々の仕事を分担しきれませんので、全委員が一丸となって総ての仕事に当たって行く事とします。そのために、委員間のコミュニケーションを良くし、親睦を深める為、なるべく多く委員会を開催したいと思っています。楽しく有意義な例会作りのため、委員の皆様のご協力は申す迄もなく、全委員の皆様の御協力をお願い致します。

次年度奉仕プロジェクト委員長
(代理)
大塚 博巳君



次年度奉仕プロジェクト委員長の酒向さんが、本日お休みなので私が、代わってご挨拶させていただきます。

次年度、奉仕プロジェクト委員会は、基本方針を「地域の活性化に向けた奉仕プロジェクト活動」とし、各担当は、その方針に沿って具体的な活動をいたします。

最後にロータリーの原点の言葉で閉めさせていただきます。

He profits most who serves best

次年度ロータリー財団委員長
杉浦 良一君



ロータリー財団が地域社会や国際社会に行ってきた成果を会員に周知させることで、年次寄付をお願いする。

恒久基金寄付への理解を求め、且つその目標達成のために努める

事業計画

ロータリー財団寄付 US\$100 ベネファクター最低一名以上 財団学友会、会員による卓話、米山記念奨学会事業寄付、又ポリオ撲滅運動のため、全世界のロータリークラブに対して今後3年間、1クラブ当り毎年1000ドルの寄付の要請がありました。

『環境問題から考える

正しいエネルギーの選択』

東海ガス(株)

副社長

増田 國衛君



< 質問 >

- Q1 . 近くへの買物に車を利用していませんか?
- Q2 . 毎朝ジョギング・散歩した後、会社へは車で通勤していませんか?
- Q3 . 車でスポーツジム・フィットネスに行っていないですか?
- Q4 . 24時間営業のコンビニ・ファミレスが必要ですか?
- Q5 . 車を購入する時、「燃費の事」を意識しますか?
- Q6 . 食べ物の「賞味期限」に頼りすぎていませんか?
- Q7 . TV・エアコンをつけたまま寝てしまうことはありませんか?
- Q8 . 「日本の食料自給率40%以下」を知ってますか?

Q9 . 「フードマイレージ」を知ってますか?

Q10 . 「清潔」に敏感になりすぎていませんか?

< 産業部門 >

経済規模は約2.3倍(1973 - 2006)となっているにもかかわらず、コージェネレーション等の積極的な省エネルギー設備の導入や、低環境負荷エネルギーへの燃料転換等により、CO2排出量は1990年比 4.6%となっている。

< 運輸部門 >

- ・自動車の保有台数が増加するとともに、エネルギー消費も増加している。
- ・天然ガス自動車は、1充填走行距離がガソリン車に比べ約3分の1と短い上に、スタンドのインフラ整備も難しい。

→ 普及が進まない(3万台)

- ・CO₂排出量は走行時だけでなく、充填時でも考慮すべき。

<業務部門>

- ・オフィスのOA化(パソコンを一人一台保有等)により、エネルギー消費が増大している。
- ・コンビニエンスストアは24時間営業の所が多く、エネルギー消費が多い。

→ 出店数も増大している。

(1990年比:2.5倍)

<家庭部門>

- ・家庭用機器のエネルギー消費効率が大幅に向上しているにもかかわらず、機器の大型化、多様化(食器洗い洗浄器・温水洗浄便座・電子レンジ等の普及)により、家庭用部門のエネルギー消費は増加傾向にある。

それに加え、世帯数の増加(1.6倍)により、相乗効果で大幅に増加している。

<総括>

地球のためにひとりひとりがやるべきこと

1. イメージに惑わされることなく、
生産・輸送・消費までのトータルの
CO₂排出量で、エネルギーを評価すべき!
2. 「節約」が一番の地球温暖化対策!!
 - ・使うたびにコンロでお湯を沸かす
 - ・冷蔵庫は季節によってこまめに温度設定
 - ・煮物には落し蓋をする
 - ・シャワーはこまめに止める
 - ・入浴後はお風呂のふたをしめる
 - ・エアコンの冷房は28℃、暖房は20℃
 - ・待機電力の削減をする
 - ・過剰包装を断り、マイバックを持参する
 - ・家族が同じ部屋で団らんする

(担当/池ノ谷)